

〈ご使用前に必ずお読み下さい。〉

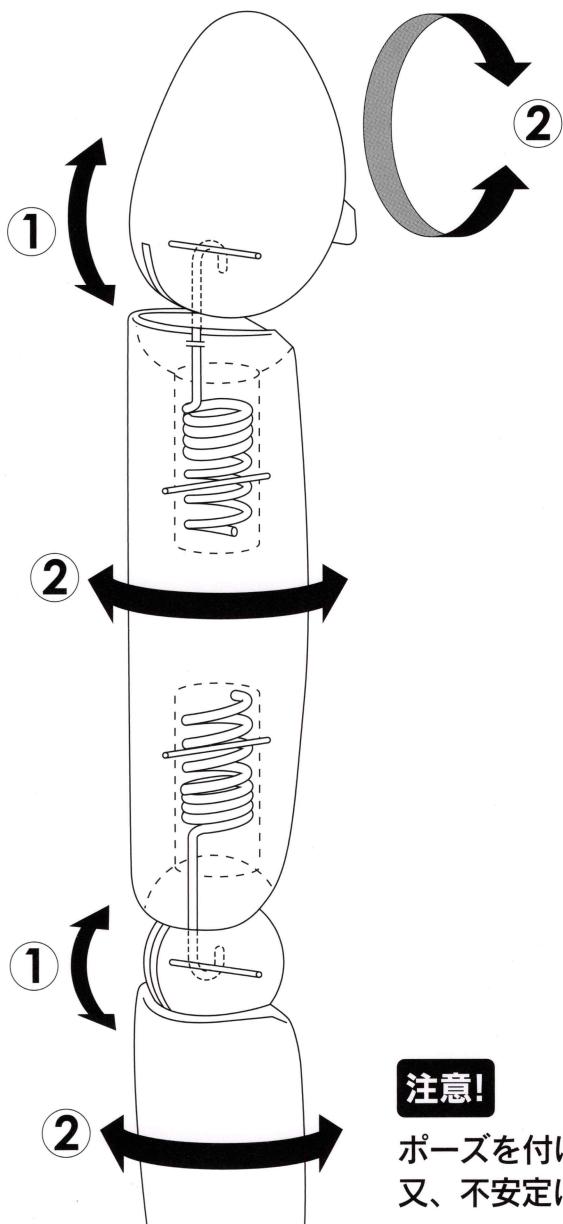
### しくみと曲がり方向について

上腕部は筒状で内部の奥にあるピンにスプリングの先端が掛かっています。右に廻すと保持力が強くなり、左へ廻すと弱くなります。

肩、肘関節ともに球型部にある溝に沿った方向①に曲がります。

その他の方向に曲げるには、肩パーツや、腕の回転②と組み合わせて、2段階で行って下さい。

直接、他の方向には曲がりませんのでご注意下さい。

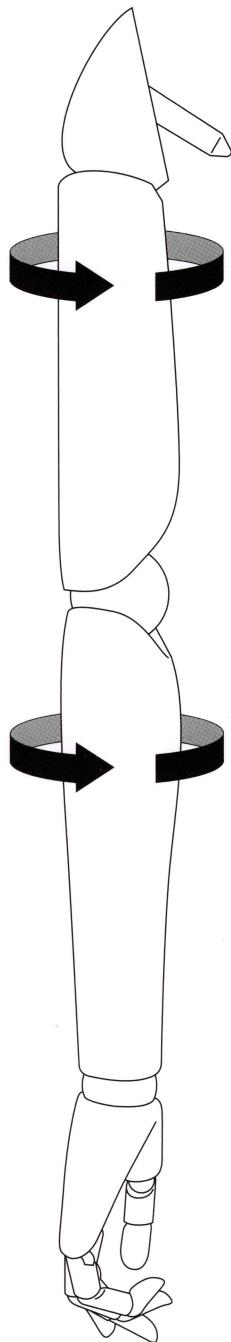


#### 注意!

ポーズを付けるには、可動方向を確認の上、ゆっくりと廻して下さい。  
又、不安定にならない範囲のポーズでご使用下さい。

### 緩んだ場合の調整方法

長期間の使用により、保持力が弱くなり、ポーズの固定が出来なくなる場合があります。その際は、下記の方法で調整して下さい。



◀ 肩の関節が緩んだ場合は、肩パーツに対して上腕を右廻し(左図矢印)に締め込んで下さい。

◀ 肘の関節が緩んだ場合は、上腕に対して下腕を右廻し(左図矢印)に締め込んで下さい。

#### 注意!

廻し過ぎますと、破損の原因になる場合がありますのでご注意下さい。

※仕様、及びデザインは改良のため、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承下さい。